

しまなみロード

8月19日(金) ~ 8月22日(月)

IN しまなみ海道(大浜崎キャンプ場、みやくぼ石文化交流館、今治市)

	午前	午後	夜
1日目	尾道に向けて出発	向島へ出発、因島へ出発	振り返り
2日目	生口島へ出発	大三島へ出発、買い出し	振り返り
3日目	今治市へ出発	今治市内散策	フェリー乗船、振り返り
4日目	関西に到着・解散		

一日目： 広島県尾道市から愛媛県今治市までを結ぶしまなみ海道を走る「しまなみロード」が今年も始まりました。尾道から尾道まで在来線で向かいました。かなりの長旅なので、その間にグループの友達の名前を覚えたり、お互いの緊張をほぐすために会話を楽しんだりして、時間を過ごしました。昼過ぎに尾道に到着し、駅前の広場にて昼食を済ませました。この頃にはすっかりみんなの緊張もほぐれ、楽しそうに会話をされていました。食後は自転車を借り、広場にて自転車の講習を行い、自在に「発進、停止」が出来るかの確認をした後、出発しました。初めの島「向島」へ渡船にて渡り、いよいよスタートです。ひたすら道路の青いライン沿いを走るの、道は基本迷うことはないのですが、それでも初めての経験の方が多いので、「みんなで走る」事に戸惑いは隠せないようです。グループは年齢がバラバラなので、誰が何番目に並べばいいか、どのぐらいの早さがいいのか、など試行錯誤されながら進まれました。向島を渡り、本日のゴールである「因島」に到着しました。島を渡るとすぐにキャンプ場があるので、メンバーの顔付きにもホッと安心感がありました。キャンプ場へ着くとすぐに荷物の運搬です。食材や器材、自分達の荷物など運ぶものが多いのですが、手分けして、手早く運び入れる事が出来ました。夕食を済ませ、汗をかけた体をシャワーでサッパリさせた後、振り返りを行いました。「過去・未来日記」という形で、今日一日について、明日一日についてみんなで話し合いました。



二日目： 本日は一日目よりも長い40kmを走ります。朝からテントや寝袋、自分の荷物の片付けを行いました。それが終わるとエネルギーを蓄えるために朝食をしっかり済ませました。みんなの意気込みは強く、「1位でゴールする!」とおっしゃられている方もおられました。因島から生口島、大三島、伯方島、そして二日目のゴールである大島へ向かいます。途中、急な登り坂や下り坂、細い道や車の通りが激しい道など数々の試練が待ち受けています。それによって、自転車から降り、手押しで歩く時もありました。しんどくてもう歩けないと訴え止まる時もありました。その都度、グループでどうするかを話し合い、一つ一つ自分たちの力のみで乗り越えておられました。二日目の昼食、夕食は自分達の好きなものを買うことができます。予めお小遣いをもらい、そこから何をどう使うのか?を話し合い、購入しました。コンビニやスーパーに入ると、先ほどまで疲れていた表情から一変、選ぶことに目を輝かせ、好きなものを買って、好きなものを食べ、エネルギーを充電され後半に向けて走り始めました。後半の足取りは午前には比べ速く、どのグループも軽快に進まれました。最後の島である大島に到着すると、最後の最後一気に駆け上がるド根性坂が待っています。気が遠くなりそうなほど延々と続く坂道ですが、皆最後の力を振り絞り頑張って登られていました。そして、ついに本日のゴールである「みやくぼ石文化交流館」に到着できました。施設に到着すると、休みたい気持ちは分かりますが、もうひと頑張りとして「夕飯作り」が待っています。最寄りのスーパーで買い物をし、施設に戻り夕飯を作りました。こちらも自分たちの食べたい料理を考案するので、誰一人やりたくないなどなく、率先して作られています。食後は昨日も行った振り返りです。昨日の振り返りを見直し、そこから出来たこと、出来なかったこと、頑張れたこと、もっと頑張れたことなどを話し合い、明日に向けて話し合いました。



三日目： 起きることなくぐっすり眠られていた為、3日目の朝は今までより少し遅めに起きました。起床後、片付けと荷造りをし、朝食を済ませるとスタートし、残りの道中を走りました。途中、海水浴場へ向かうグループがおられました。猛暑の中、海に入ると、熱がこもった体にとても気持ち良く、短い時間でしたが、泳いだり、水を掛け合ったり、存分に楽しめました。最後の「来島海峡大橋」を越え、ついに今治市へと入りました。標識に残り10kmをきると、やる気が俄然とみなぎられている様子が伺えました。ゴールの『今治城』について到着出来ました。今までの疲れが一度にきたようで、皆座り込んでおられました。しかし、表情は本当に嬉しそうで、終始笑顔が溢れていました。余った時間は今治観光を行いました。市内の観光できそうなところや、お土産を買うためにグループでどこに行くか話し合い、決まった場所へ向かいました。夕食も集合時間までに済ましていただくので、お店に入ったり、モールで済ませたりされていました。集合時間になり、三日間使っていた自転車とお別れをし、東予港まで向かうバスに乗るために停留所へ向かいました。今回はバス会社さんのご厚意で貸切バスをご用意いただき、ゆっくり車中で休みながら港へ向かうことが出来ました。フェリー乗り場へ向かい乗船すると、船内の大きさにメンバーは驚かれており、さきほどまで眠そうな様子から一変興奮されていました。部屋に向かい、入浴と振り返りを行いました。3度目の振り返りに要領も良く進められ、また全員が向き合い、意見を言われていました。全て終わるとすぐに就寝されました。



四日目： 朝のフェリーで、起きても再び寝てしまいなかなか起きませんでした。本当に疲れがピークなのでしょう。朝食は船内バイキングです。はじめて最後の食堂利用で、美味しく食べていただきました。何度もおかわりに行かれる方もおられました。下船し、近くの公園で最後の振り返りです。今までは「今日の出来事」と「明日の頑張ること」を描いていただきましたが、今回は『これから何を頑張っていくか』を話し合ってくださいました。しまなみ海道を走って、キャンプを通して、何を学んだのかをじっくりと考えていただきました。そして、公園を出発し、解散場所の尼崎へ戻りました。向かうに連れ、人も多くなってき、私達が普段住んでいる街並みをどこか懐かしく思い、そして走ってきた風景を懐かしく感じながら尼崎にて解散しました。



<キャンプ総括>

しまなみロードは参加される学年層が広い為、進むペースや意見の食い違いなど様々な課題が生まれ、メンバー一人一人が成長できる機会が沢山あります。ご自身の気持ちを言葉で伝えられる方もおられれば、それが苦手な方もおられます。そうしたメンバーは言葉ではなく『感情』で訴えられます。その中で一番多いのが「泣く」事です。今回も様々な涙を見ました。自転車を漕ぐことが上手いかず、そのイライラを泣くことでぶつけておられる方がいました。長い距離を走り疲れが溜まり、しんどい気持ちが前面に出てきて泣かれている方がいました。自分の訴えが周りに届かず泣かれている方がいました。こうした沢山の涙がグループを成長させます。「どうすればいいだろう…。」些細な事でも、それをグループの課題として取り組もうとされる時、一つ大きな成長があると私は考えています。他人事を『自分事』に置き換えられるかどうか、とても大切な事であり、そこに信頼が生まれ、グループ形成されていきます。本人一人では解決出来ない事をみんなで解決していこうとする力が大事です。こうした事をこれからもキャンプを通して伝えていきます。

(竹中 哲郎)